

部門貢献表彰を受賞して



川合忠雄
(大阪公立大学)

このたびは部門貢献表彰を授与頂きましてありがとうございます。

今回、診断・メンテナンス分野での貢献と言うことで賞を頂きましたが、きっかけは1996年頃に岐阜大学の堀先生の部門講演会でのOS「計測・評価・診断」に加わったことからです。その後、機械の品質評価と異常診断技術に関する研究会（1999年設置）、合同研究会（機械学会、日本設備管理学会、日本トライボロジー学会、初回2003年）、評価診断に関するシンポジウム（初回2002年）とさまざまな取り組みを進めてきました。これもいろいろな人との出会いがあり、支えがあったことの賜物です。

機械学会では、従来、振動解析や振動制御が主流でしたので、当初は「診断」というのは非常に地味な分野でした。その後、部門名称に、「計測制御」が付き、さらに最近はIoT、Industry4.0などが話題となるにつれ、「診断」技術に注目が集まるようになりました。私としては今後の展開を考えると非常にワクワクしています。

モノは使えば必ず壊れます。いかにうまくモノを使うか。そのためにどのような技術が必要になるのか。今後さらにこの分野に多くの方が関心を寄せ、いろいろな方と連携しながら、技術が展開して行くことを期待しています。